



## もやの中から浮かび上がるつぶ - スナギンチャクの産卵 -

ずいぶん暖かくなり、水温も 25 を超える日がでてきました。いよいよサンゴの産卵の季節です。けれども、この時期に繁殖するのは、もちろんサンゴだけではありません。夏の海では、クマノミが卵を守っていたり、ヒトデやナマコが卵や精子を海中に吹き出す光景を目にしたりします。そして、サンゴにとても近い動物の“スナギンチャク”も、どうやらこの時期に卵を産むようです。今回は、このスナギンチャクを紹介しましょう。

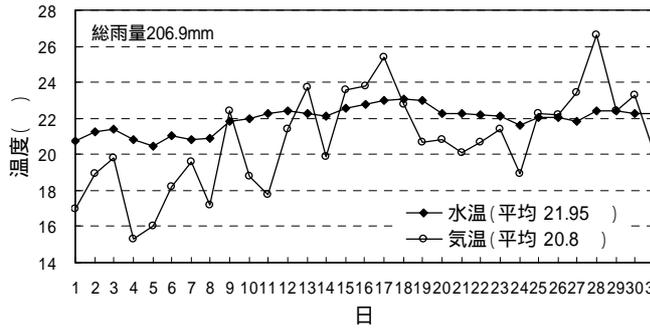
みなさんの中で、スナギンチャクという動物を知っている人はどのくらいいるでしょうか。きっとあまりいないのではないかと思います。「イソギンチャクなら知っているけど」と言う人は多いかもしれません。たしかにスナギンチャクは、名前も姿もイソギンチャクと似ていますし、実際にイソギンチャクやサンゴと同じグループの動物です。けれども、イソギンチャクが 1 個体ずつでくらしている

のに対して、スナギンチャクは基本的には多くの個体がつながった‘群体’として生活しています。この点では、サンゴと似ていますが、サンゴにはかたい骨格があるのに対して、スナギンチャクにはそれがありません。そのかわりに、スナギンチャクの体には、砂つぶなどがうめ込まれていて、それが名前の由来になっています。

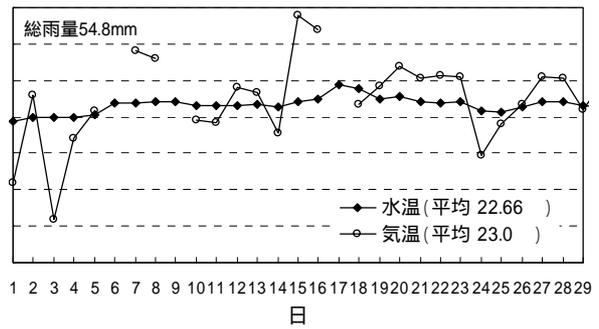
さて、このスナギンチャク、知らない人が多いということは、めずらしい生き物なのではないでしょうか。いえ、そんなことはありません。阿嘉島のまわりなら、だいたいこの海でも見つけることができます。ただ、海底でよく目にするのはイワスナギンチャクという、淡い茶色や灰色の地味な種類なので、あまり目立たないのです。そのほかにも、マメスナギンチャクというあざやかできれいな色をした仲間もいるのですが、この仲間は死んだ枝サンゴのすき間などにいるので、残念ながら気づかれないことが多いようです。けれども、阿嘉島のまわりには 1 ヶ所、このマメスナギンチャクの仲間が、だれが見てもわかるくらいにとてもたくさんすんでいる場所があります。それは、阿嘉港（旧港）の中です。今、研究所がサンゴを育てている養殖用いかだの岸側の浅いところには、10 年ほど前にはひしめくようにたくさんの種類の枝状のミドリイシサンゴが生息していました。それが、

## 定点観測

2008年 3月



2008年 4月



港の工事などで全滅して、今はがれきが海底をおおっているのですが、そこにびっしりとマメスナギンチャクの仲間がくらしているのです。そして、偶然そのマメスナギンチャクの産卵を見たのが3年前の夏のことでした。

2005年6月29日、満月から7日後の夜です。その日も別の浜でサンゴの産卵調査をしました。残念ながらサンゴはまったく産卵せず、研究所に帰ろうとしていたのですが、その夜の実験に使う物が港の中に入れてあったので寄り道をしました。すると港の様子が変なのです。すぐにごっていて、浅いはずの海の底が見えません。にごりの原因が思いあたらなかったのですが、しばらくじっと海の中を見ていました。そのとき、海底のほうから、丸いつぶがいくつか浮かんできたのです。そこで、海底を観察してみると、びっしりとがれきにはり付いているマメスナギンチャクから、ぼつりぼつりとつぶが産み出されていきました。時刻は午後11時30分でした。そのつぶを1つ採取してみると、どうやらそれは1つの卵ではなく、複数の卵が集まったもので、こわすとたくさんの小さな卵に分かれました。ちょうどサンゴのバンドル(た



スナギンチャクの卵

ん  
の卵と精子のかたまり)のようだと思います。けれども、

サンゴのバンドルをこわすと中の精子が溶けて水が白くにごるのですが、このスナギンチャクつぶでは、全然にごりません。きっと、サンゴとちがって中に精子が入っていないのでしょう。つまり、このマメスナギンチャクの仲間は、卵は卵、精子は精子で海中に産み出すようです。最初に気づいた水のごりは、精子が大量にはき出されたためでしょう。初めて見たスナギンチャクの卵は、直径は0.5mmくらいで、褐虫藻らしい茶色い点をたくさん含んでいました。

毎年気にはしているのですが、その後は1度もスナギンチャクの産卵を見に行っていないです。ぜひもう一度、きちんと観察したいと思っています。おとし、スナギンチャクを研究している人と話をした時、その人も実際に産卵を見たことはないと言っていました。慶良間の海は、そういう貴重なものを私たちにひょいひょい見せてくれる豊かさをもっています。ぜひみなさんも、いろいろな生き物たちのくらしぶりをのぞいてみてください。

## 阿嘉島の海より

今年もサンゴの産卵の季節になりました。今年は5月にしてはめずらしく台風が3つも発生し、水温が上がりきれません。ミドリイシの産卵は5月25~27日あたりになるのではないのでしょうか。